エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

天然ガスがひらく未来

2013年10月31日

各 位

会 社 名：東 京 瓦 斯 株 式 会 社
代表者名：代 表 取 締 役 社 長　岡 本　毅
（コード：9531 東証・名証第1部）
問合せ先：財務部IRｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞｬｰ 坂田 一
（T E L.：(03) ― 5400 ― 3888）

2014年3月期第2四半期決算・料金改定 アナリスト向け説明資料

標記アナリスト向け説明資料を、添付のとおり公表いたします。

以上

TSE:9531

2013年度第2四半期決算・料金改定説明会

TOKYO GAS

2013年10月30日

目次

１．料金改定について
２．2013年度第２四半期決算概要
３．2013年度通期見通し概要
４．ﾁｬﾚﾝｼﾞ2020ビジョンの進捗状況
５．参考資料

1. 料金改定について

ガス料金改定について

営業努力の成果であるガス販売量の増加と、継続的に取り組んでいく経営効率化努力による固定費の削減の成果をお客さまに還元するため、以下の通り料金引き下げを実施する（東京地区）。

■引き下げ幅

- 小口部門の料金を現行水準から平均　２．０９％引き下げる。
  （届出平均単価：供給約款▲１．５９％、選択約款▲３．１３％（口座振替割引込み））

■実施時期

- 2013年12月10日実施。　口座割引適用(税込53円)は2014年3月検針分から。

■基準平均原料価格

- 82,470円/t　（ご参考：前回料金改定時66,180円/t）

参考：過去の料金改定

改定年月日	小口平均改定率
1999年12月10日	▲2.00%
2001年2月15日	▲3.20%
2005年 1月 1日	▲5.18%
2006年2月21日	▲0.28%
2008年4月15日	▲1.51%
2012年 3月 8日	▲1.57%
今回(2013年12月10日)	▲2.09%

2. 2013年度第2四半期決算概要

TOKYO GAS

2013年度2Q実績(2013.4.1 － 9.30) <対前年度実績>

ポイント　増収増益

（＋ －,+/▲は利益に対する影響を示す，億円）

売上高	+698	：	＋	都市ガス売上増　（+363：円安に伴う販売単価増）
			＋	LNG販売売上増　（+129：販売量増　）
			＋	電力売上増　（+49 ：販売単価増等　）
			＋	海外売上増　（+46 ：プルート、バーネット等　）
営業費用	▲663	：	－	都市ガス原材料費増　（▲360：為替▲673、油価+182等　）
			－	LNG販売原材料費増（▲123：数量増等　）
			－	電力原材料費増　（▲32 ：原料費増　）
営業利益	+35	：	＋	都市ガス利益増　（+13：ガス粗利+3（うち気温影響▲93））
			＋	電力利益増　（+18）
当期純利益	+28	：	＋	法人税等減　（+38）

（単位：億円）

	2013年度2Q	2012年度2Q	増減	%	前回見通し(7.31)	増減	%
ガス販売量（百万m^3, 45MJ）	6,673	6,998	▲325	▲4.6%	6,732	▲59	▲0.9%
売上高	9,335	8,637	+698	+8.1%	9,420	▲85	▲0.9%
営業費用	8,649	7,986	+663	+8.3%	8,750	▲101	▲1.2%
営業利益	685	650	+35	+5.3%	670	+15	+2.3%
経常利益…①	649	670	▲21	▲3.1%	610	+39	+6.5%
当期純利益	427	399	+28	+7.0%	400	+27	+7.0%
気温影響…②	*▲85*	*8*	*▲93*	—	*▲59*	*▲26*	—
スライドタイムラグ…③	*109*	*8*	*+101*	—	*108*	*+1*	—
年金数理差異償却額…④	*▲11*	*▲22*	*+11*	—	*▲11*	*0*	—
補正経常利益①-(②+③+④)	*636*	*676*	*▲40※*	*▲5.9%*	*572*	*+64*	*+11.2%*
補正当期純利益	*418*	*404*	*+14*	*+3.5%*	*374*	*+44*	*+11.8%*

※▲40:ガス販売量減▲31(気温影響▲93控除後)、固定費減+10、電力+18、器具・工事+15、営業外▲55、その他のセグメント利益等+3

経済フレーム(2Q)	為替レート(¥/$)	原油価格($/bbl)	平均気温 (℃)
今回実績	98.86	107.66	22.3
前年度実績	79.41<+19.45>	113.97<▲6.31>	21.6<+0.7>
前回見通し	99.39(▲0.53)	108.87(▲1.21)	21.8(+0.5)

年金	運用利回り ※コスト控除後	期末資産(億円)
2013年度2Q	▲0.73%	2,710

期待運用収益率:2%

<>内対前年度増減、( )内対前回増減

連結ガス販売量2Q実績

TOKYO GAS

前年度実績→ 今年度実績

▲325百万㎥(▲4.6%)の減少

[うち気温影響▲91百万㎥▲1.3%の減少]

■ 家庭用	▲86百万㎥(▲6.4%)
●気温要因	▲90百万㎥
●日数影響	▲2百万㎥
●お客さま件数	+17百万㎥
●その他	▲11百万㎥
■ 業務用	▲6百万㎥(▲0.5%)
●気温要因	+3百万㎥
●日数影響	+4百万㎥
●お客さま件数	0百万㎥
●その他	▲14百万㎥
■ 工業用	▲236百万㎥(▲7.0%)
●一般工業用:	+12百万㎥
●発電専用:	▲247百万㎥
トーリング影響	▲464百万㎥
鹿島地区増分	+96百万㎥等
■ 卸	+4百万㎥(+0.4%)
●気温要因	▲4百万㎥
●その他	+8百万㎥
卸供給事業者需要増等	

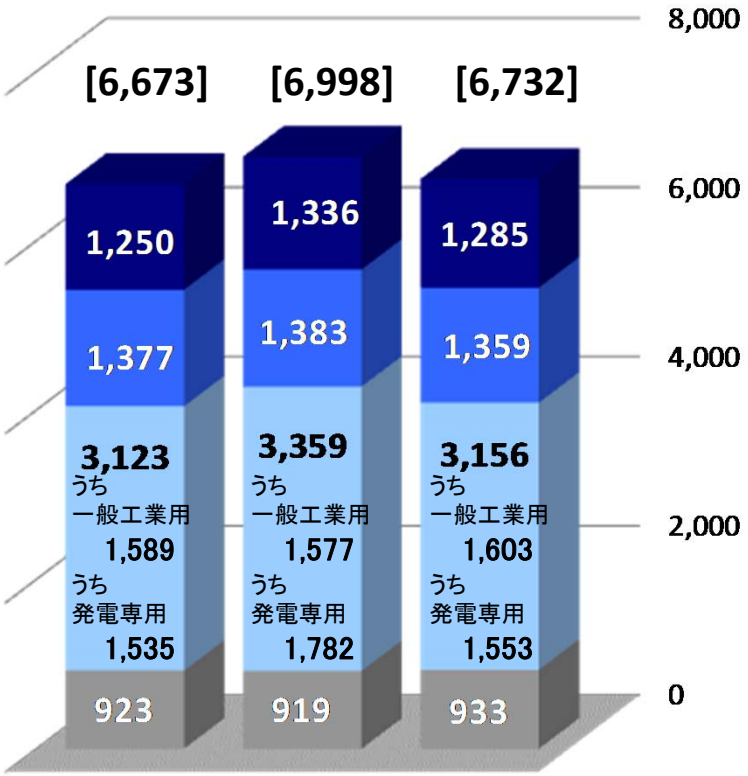
前回見通し→ 今年度実績

▲59百万㎥(▲0.9%)の減少

[うち気温影響▲7百万㎥▲0.1%の減少]

■ 家庭用	▲35百万㎥(▲2.7%)
●気温要因	▲35百万㎥
●日数影響	▲1百万㎥
●お客さま件数	0百万㎥
●その他	+2百万㎥
■ 業務用	+18百万㎥(+1.3%)
●気温要因	+31百万㎥
●日数影響	0百万㎥
●お客さま件数	▲6百万㎥
●その他	▲8百万㎥
■ 工業用	▲33百万㎥(▲1.0%)
●一般工業用:	▲15 百万㎥
既存設備稼働減等	
●発電専用:	▲18百万㎥
既存設備稼働減等	
■ 卸	▲10百万㎥(▲1.1%)
●気温要因	▲3百万㎥
●その他	▲6百万㎥
卸供給事業者需要減等	

ガス販売量: (百万㎥以下四捨五入)



今年度実績　前年度実績　前回見通し

お客さま件数(万件)

2013.2Q実績	2012.2Q実績	増減
1,102.5	1,090.0	+12.5(+1.1%)

	2013年度2Q	2012年度2Q	増減	前回見通し	増減
LNG液販売量(千t、ﾆｼﾞｵ向け除く)	343	215	+128	342	+1
平均気温(℃)	22.3	21.6	+0.7	21.8	+0.5

トーリング移行によるガス販売量変化

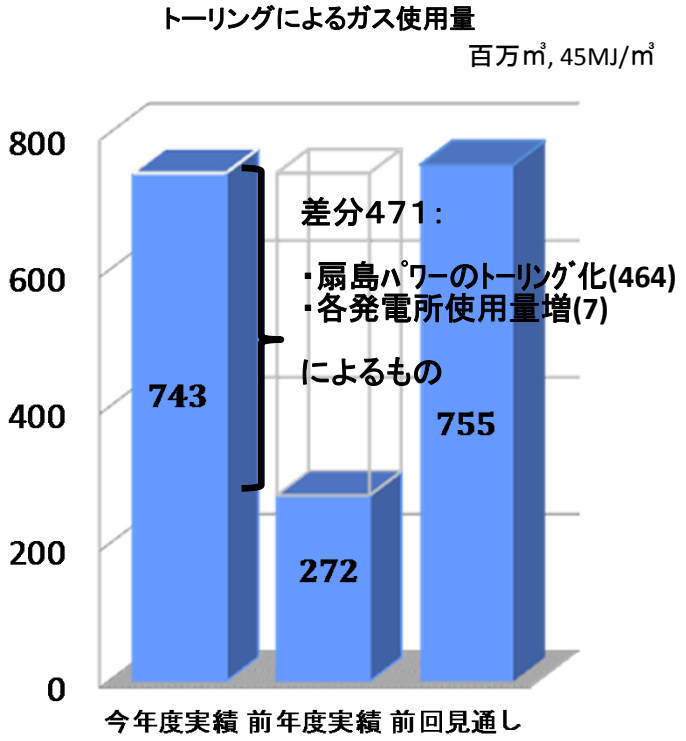
2Q実績

■ トーリングによるガス使用量込（単位：百万m3）

	今年度実績	前年度実績	増減	前回見通し	増減
ガス販売量（財務会計数値）	6,673	6,998	▲325	6,732	▲59
			▲4.6%		▲0.9%
トーリングによるガス使用量	743	272	+471	755	▲12
			+172.7%		▲1.5%
合計	7,416	7,270	+146	7,486	▲70
			+2.0%		▲0.9%

■ 工業用ガス販売量内訳（単位：百万m3）

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	196	1,339	1,535
対前年度実績	+96(+94.8%)	▲343※(▲20.4%)	▲247(▲13.9%)
対前回見通し	▲16(▲7.4%)	▲2(▲0.2%)	▲18(▲1.1%)
一般工業用	71	1,517	1,589
対前年度実績	+41(+137.5%)	▲30(▲1.9%)	+12(+0.7%)
対前回見通し	+1(+1.8%)	▲16(▲1.0%)	▲15(▲0.9%)
合計	268	2,856	3,123
対前年度実績	+137(+104.6%)	▲373(▲11.5%)	▲236(▲7.0%)
対前回見通し	▲14(▲5.1%)	▲18(▲0.6%)	▲32(▲1.0%)



トーリング：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

※うちトーリング移行分：▲464

2013年度2Q実績 セグメント別売上高・営業損益（対2012年度2Q実績）

（単位:億円）

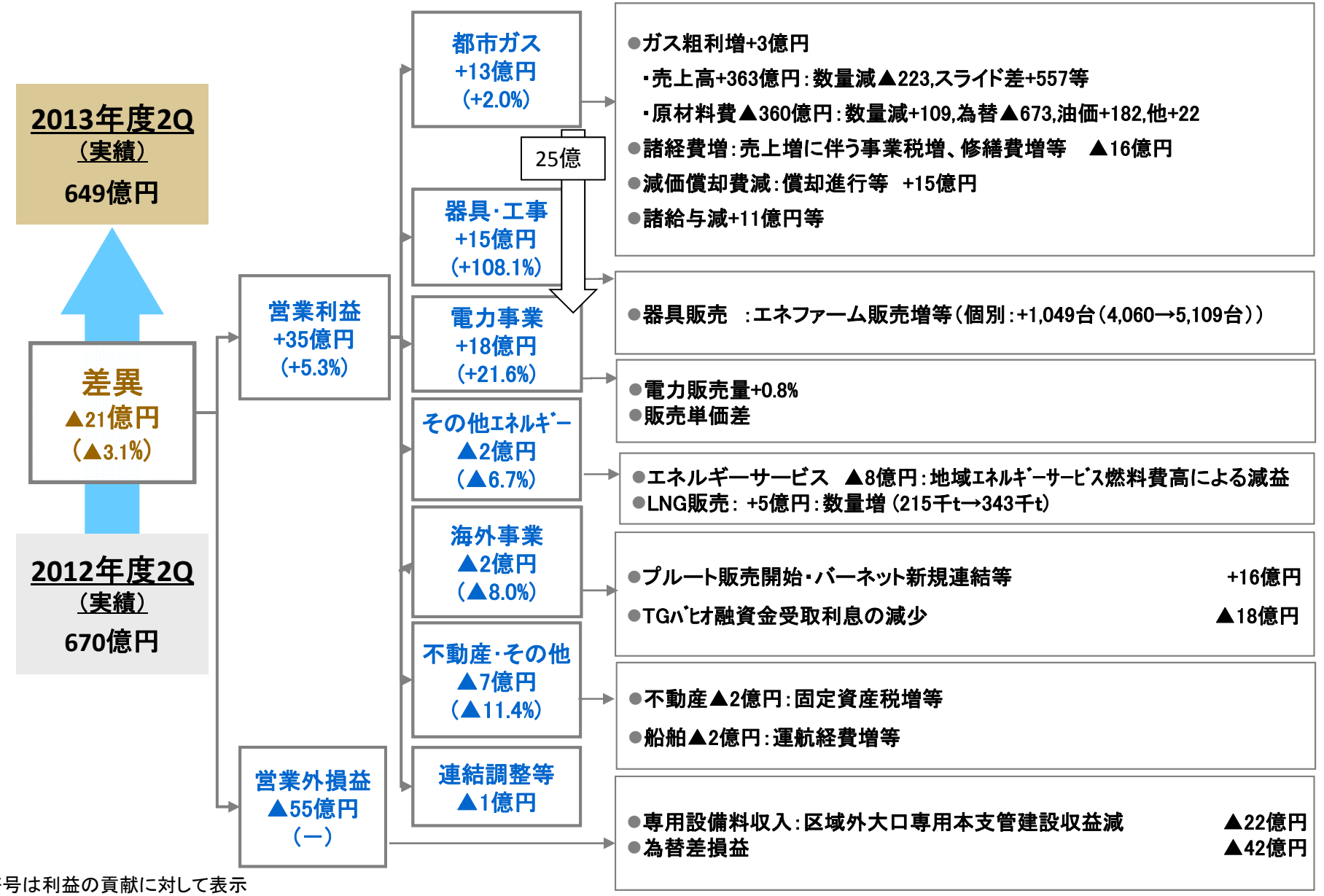
	売上高				セグメント利益			
	2013年度2Q	2012年度2Q	増減	%	2013年度2Q	2012年度2Q	増減	%
都市ガス	6,646	6,283	+363	+5.8%	659	646	+13	+2.0%
器具及びガス工事	933	933	0	▲0.1%	29	14	+15	+108.1%
その他エネルギー	1,658	1,578	+80	+5.1%	133	118	+15	+12.8%
(電力事業)	666	617	+49	+8.1%	99	81	+18	+21.6%
不動産	145	150	▲5	▲3.4%	31	33	▲2	▲6.0%
その他	836	880	▲44	▲5.0%	40	47	▲7	▲13.9%
(海外事業)	87	41	+46	+108.6%	16	18	▲2	▲8.0%
調整額	▲885	▲1,190	+305	—	▲209	▲208	▲1	—
連結	9,335	8,637	+698	+8.1%	685	650	+35	+5.3%

注記:
- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
- 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
- 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業 、クレジット・リース事業、海外事業等 を含みます。
- 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
- （ ）内は内数表示

2013年度2Q実績 経常利益分析 ＜対2012年度2Q実績＞

（単位：億円）

TOKYO GAS



※符号は利益の貢献に対して表示

３．2013年度　通期見通し

2013年度通期見通し（2013.4.1 － 2014.3.31） <対前回見通し（7月31日発表）>

TOKYO GAS

通期見通しのポイント　減収増益

（ ＋ － ,+/▲は利益に対する影響を示す，億円）

売上高 ▲160 ：
- － 都市ガス売上減 （▲207：数量減▲87,スライド差▲63,料金改定▲60）
- ＋ 電力売上増 （＋ 41 ：数量増）

営業費用 +140 ：
- ＋ 都市ガス原材料費減 （+113 ：数量減+56、為替+12、油価+33）
- ＋ LNG販売営業費用減 （+15 ：原料費の減 ）

営業利益 ▲20 ：
- － 都市ガス営業利益減 （▲75 ：ガス粗利▲94（料金改定影響▲60）、固定費減+19 ）
- ＋ 器具・工事営業利益増 （+17 ：GHP販売台数増、受注工事件数増他 ）
- ＋ その他のセグメント利益増 （+21 ：電力+7、海外+5、LNG販売+3他 ）

当期純利益 +20 ：
- ＋ 法人税等減 （+56）

（単位:100万㎥・45MJ、億円）

	今回見通し	前回見通し(7/31)	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量（百万m³, 45MJ）	14,483	14,590	▲107	▲0.7%	15,390	▲907	▲5.9%
売上高	20,800	20,960	▲160	▲0.8%	19,156	+1,644	+8.6%
営業費用	19,210	19,350	▲140	▲0.7%	17,700	+1,510	+8.5%
営業利益	1,590	1,610	▲20	▲1.2%	1,456	+134	+9.2%
経常利益・・・①	1,530	1,550	▲20	▲1.3%	1,474	+56	+3.8%
当期純利益	1,030	1,010	+20	+2.0%	1,016	+14	+1.3%
気温影響・・・②	*▲85*	*▲59*	*▲26*	—	*29*	*▲114*	—
スライドタイムラグ・・・③	*221*	*227*	*▲6*	—	*▲124*	*+345*	—
年金数理差異償却額・・・④	*▲22*	*▲22*	*0*	—	*▲44*	*+22*	—
補正経常利益・・①－(②＋③＋④)	*1,416*	*1,404*	*+12※*	*+0.9%*	*1,613*	*▲197*	*▲12.2%*
補正当期純利益	*955*	*913*	*+42*	*+4.6%*	*1,109*	*▲154*	*▲13.9%*

※+12:ガス販売量減▲5(気温影響▲26控除後)、料金改定影響▲60、固定費減+19、器具工事+17、その他のセグメント利益増等+41

経済フレーム(通年)	為替レート(¥/$)	原油価格($/bbl)	平均気温 (℃)
今回見通し	99.43	108.83	17.0
前回見通し	99.70(▲0.27)	109.43(▲0.60)	16.8(+0.2)
2012年度	82.91<+16.52>	113.88<▲5.05>	16.6<+0.4>

( )内対前回増減、＜＞内対前年度増減

年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末資産（億円）
2012年度	6.10%	1.4%	2,760
2011年度	5.13%	1.7%	2,540

期待運用収益率:2%

連結ガス販売量見通し

TOKYO GAS

前回見通し → 今回見通し

▲107百万㎥（▲0.7%）の減少
[うち気温影響▲6百万㎥,▲0.0%の減少]

■ 家庭用	▲34百万㎥（▲1.0%）
●気温要因	▲34百万㎥
●日数影響	▲1百万㎥
●お客さま件数	+2百万㎥
●その他	▲1百万㎥
■ 業務用	+21百万㎥（+0.7%）
●気温要因	+31百万㎥
●日数影響	0百万㎥
●お客さま件数	▲6百万㎥
●その他	▲5百万㎥
■ 工業用	▲62百万㎥（▲1.0%）
●一般工業用:	▲25百万㎥
既存設備稼働減等	
●発電専用:	▲38百万㎥
既存設備稼働減等	
■ 卸	▲30百万㎥（▲1.5%）
●気温要因	▲3百万㎥
●その他	▲28百万㎥
卸供給事業者需要減等	

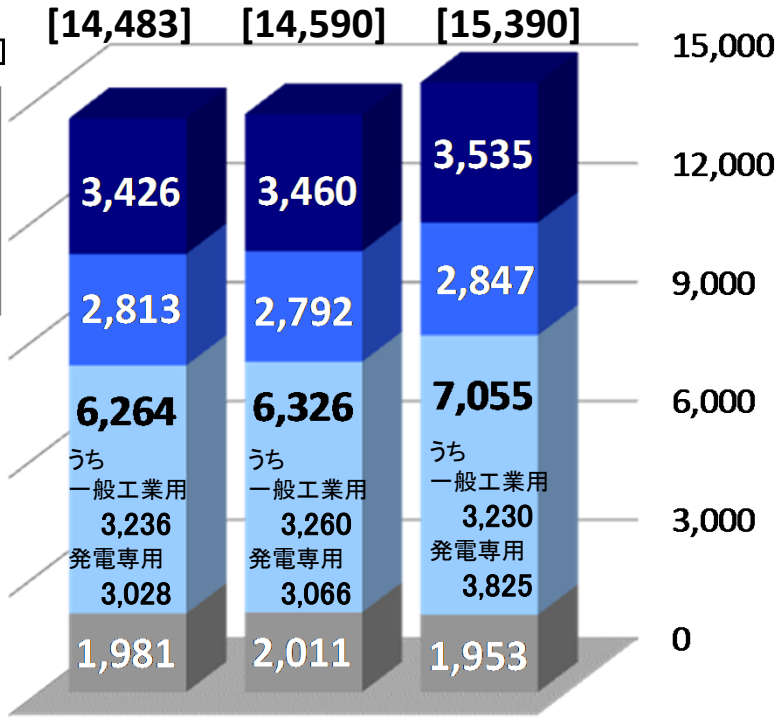
前年度実績 → 今回見通し

▲907百万㎥（▲5.9%）の減少
[うち気温影響▲146百万㎥,▲0.9%の減少]

■ 家庭用	▲109百万㎥（▲3.1%）
●気温要因	▲118百万㎥
●日数影響	▲2百万㎥
●お客さま件数	+43百万㎥
●その他	▲32百万㎥
■ 業務用	▲34百万㎥（▲1.2%）
●気温要因	▲19百万㎥
●日数影響	+4百万㎥
●お客さま件数	0百万㎥
●その他	▲20百万㎥
■ 工業用	▲791百万㎥（▲11.2%）
●一般工業用:	+5百万㎥
鹿島地区稼働増等	
●発電専用:	▲796百万㎥
トーリング影響	▲969百万㎥
鹿島地区増分	+172百万㎥等
■ 卸	+28百万㎥（+1.4%）
●気温要因	▲9百万㎥
●その他	+37百万㎥
卸供給事業者需要増等	

ガス販売量:

（百万㎥以下四捨五入）



今回見通し　前回見通し　前年度実績

	今回見通し	前回見通し	増減
LNG液販売量（千t、ニジオ向け除く）	790	801	▲11
平均気温（℃）	17.0	16.8	+0.2

お客さま件数（万件）

今回見通し	前回見通し	増減
1,110.5	1,110.4	+0.1(+0.0%)

トーリング移行によるガス販売量変化

2013年度見通し

●トーリングによるガス使用量込

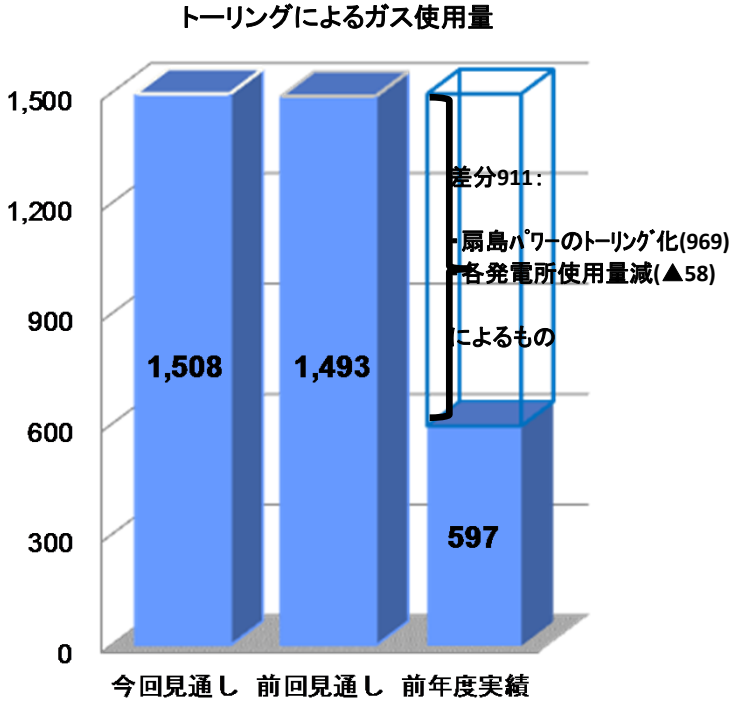
百万㎥, 45MJ/㎥

	今回見通し	前回見通し	増減	2012年度実績	増減
ガス販売量（財務会計数値）	14,483	14,590	▲107	15,390	▲907
			▲0.7%		▲5.9%
トーリングによるガス使用量	1,508	1,493	+15	597	+911
			+1.0%		+152.7%
合計	15,991	16,083	▲92	15,986	+5
			▲0.6%		+0.0%

今回見通し販売量の2020ビジョンベース： 16,978百万m3

●工業用ガス販売量内訳（単位：百万m3）

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	487	2,541	3,028
（対前年実績）	+172(+54.6%)	▲968※(▲27.6%)	▲796(▲20.8%)
（対前回見通し）	▲21(▲4.0%)	▲17(▲0.7%)	▲38(▲1.2%)
一般工業用	167	3,068	3,236
（対前年実績）	+78(+87.5%)	▲73(▲2.3%)	+5(+0.2%)
（対前回見通し）	+10(+6.3%)	▲35(▲1.1%)	▲25(▲0.8%)
合計	655	5,609	6,264
（対前年実績）	+250(+61.9%)	▲1,041(▲15.7%)	▲791(▲11.2%)
（対前回見通し）	▲11(▲1.6%)	▲52(▲0.9%)	▲62(▲1.0%)



※トーリング：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

※うちトーリング移行分：▲969

2013年度見通し セグメント別売上高・営業損益(対前回見通し)

TOKYO GAS

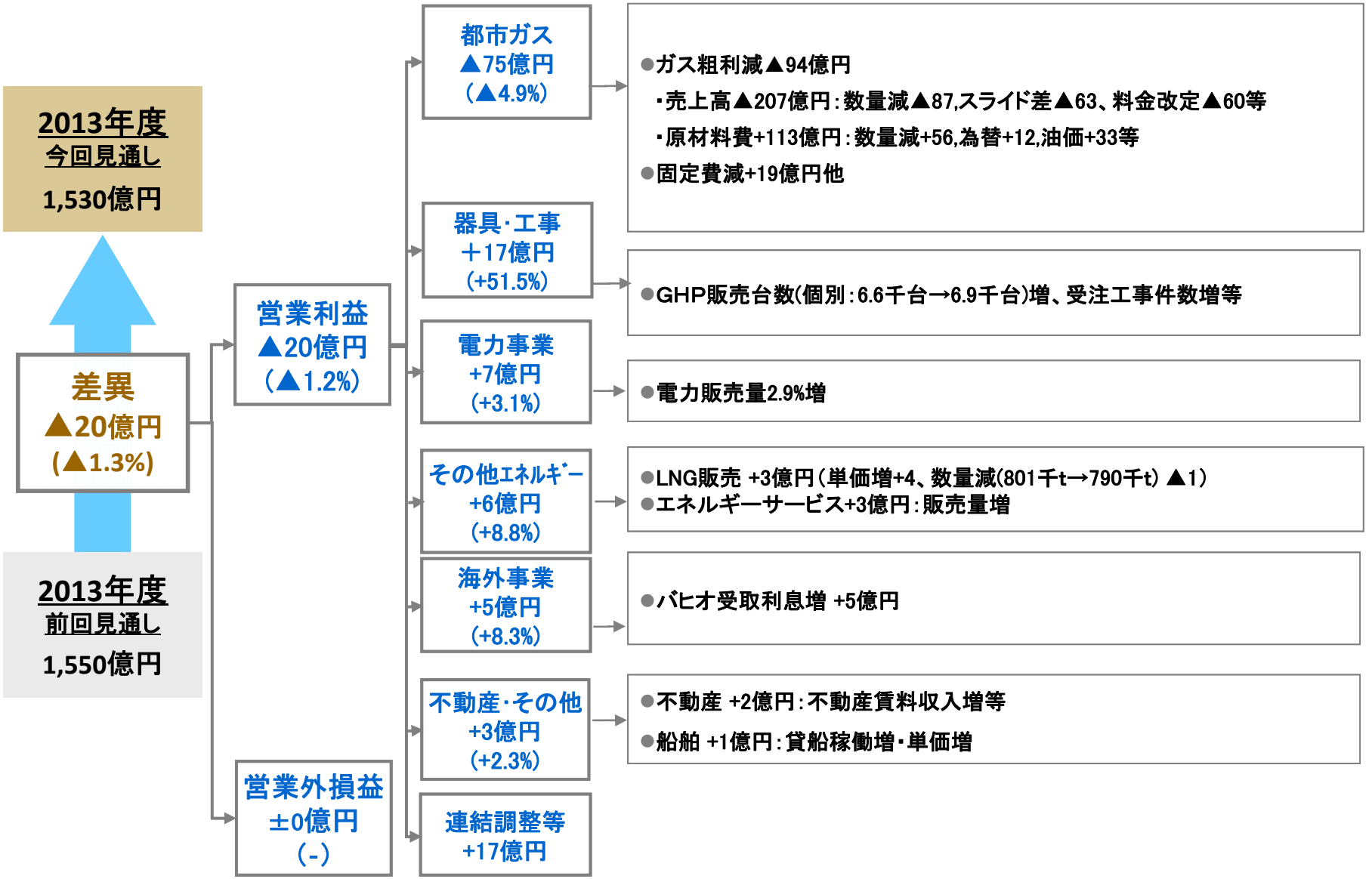
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前回見通し	増減	%	今回見通し	前回見通し	増減	%
都市ガス	14,750	14,957	▲207	▲1.4%	1,468	1,543	▲75	▲4.9%
器具及びガス工事	2,114	2,075	+39	+1.9%	50	33	+17	+51.5%
その他エネルギー	3,488	3,436	+52	+1.5%	304	291	+13	+4.5%
(電力事業)	1,339	1,298	+41	+3.2%	230	223	+7	+3.1%
不動産	282	281	+1	+0.4%	51	48	+3	+6.3%
その他	1,926	1,917	+9	+0.5%	149	144	+5	+3.5%
(海外事業)	231	234	▲3	▲1.3%	65	60	+5	+8.3%
調整額	▲1,760	▲1,706	▲54	—	▲432	▲449	+17	—
連結	20,800	20,960	▲160	▲0.8%	1,590	1,610	▲20	▲1.2%

注記:
- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
- 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
- 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業 、クレジット・リース事業、海外事業等 を含みます。
- 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
- ( )内は内数表示

2013年度見通し 経常利益分析 ＜対前回見通し＞

（単位：億円）



※符号は利益の貢献に対して表示

2013年度見通し セグメント別売上高・営業損益(対2012年度実績)

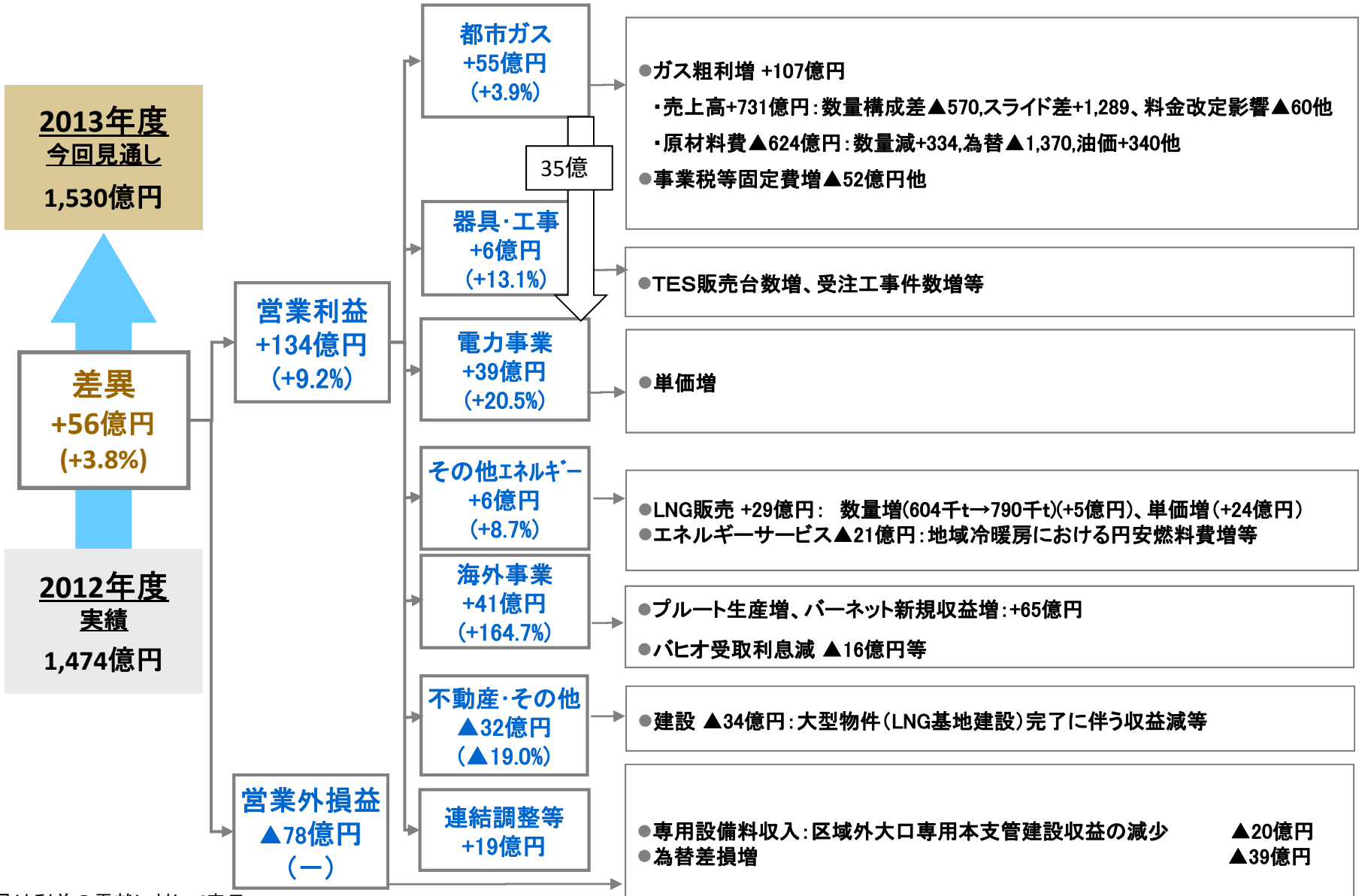
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	2012年度	増減	%	今回見通し	2012年度	増減	%
都市ガス	14,750	14,019	+731	+5.2%	1,468	1,413	+55	+3.9%
器具及びガス工事	2,114	2,060	+54	+2.6%	50	44	+6	+13.1%
その他エネルギー	3,488	3,366	+122	+3.6%	304	259	+45	+17.2%
(電力事業)	1,339	1,270	+69	+5.4%	230	191	+39	+20.5%
不動産	282	302	▲20	▲6.8%	51	56	▲5	▲8.9%
その他	1,926	1,957	▲31	▲1.6%	149	135	+14	+10.1%
(海外事業)	231	124	+107	+86.5%	65	24	+41	+164.7%
調整額	▲1,760	▲2,550	+790	—	▲432	▲451	+19	—
連結	20,800	19,156	+1,644	+8.6%	1,590	1,456	+134	+9.2%

注記:
- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
- 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
- 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業 、クレジット・リース事業、海外事業等 を含みます。
- 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
- ( )内は内数表示

2013年度見通し 経常利益分析 ＜対2012年度実績＞

（単位：億円）



※符号は利益の貢献に対して表示

2013年度 キャッシュフローの使途

設備投資

設備投資	主な件名	【参考】当初計画
東京ガス： 1,425億円 （▲41億円,▲2.8%）	製造設備　：284億円（+3億円） 日立LNG基地建設等	東京ガス： 1,466億円
	供給設備　：933億円（▲33億円） 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等：207億円（▲12億円） システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計： 1,154億円 （+10億円, +0.9%）	海外上流投資 699億円 ｵﾝｻｲﾄｴﾈﾙｷﾞｰｻｰﾋﾞｽ169億円(ENAC)他	連結子会社計： 1,144億円
合　計　2,540億円（▲40億円,▲1.6%, 連結消去後）		合計：2,580億円 （連結消去後）

※（　）内増減は対2013年度当初計画の数値

投融資

117億円（海外事業等207億円・融資回収▲90億円、対当初変更なし）

株主還元

627億円（TG個別分・キャッシュフローベース、対当初変更なし）
（12年度期末及び13年度中間配当267億円、13年度自社株取得額360億円合計）

2013年度 資金計画(連結)

所要資金と資金調達

【上期実績】

所要資金		資金調達		
設備投資	1,219	自己資金	減価償却等	665
その他投融資※	▲52		経常利益	649
決算資金	482		その他	21
自社株取得	360		計	1,335
償還・返済 (個別分)	174 (225)	外部資金 (個別分)		848 (765)
計	2,183	計		2,183

【年度見通し】 (単位:億円)

所要資金		資金調達		
設備投資	2,540	自己資金	減価償却等	1,390
その他投融資※	117		経常利益	1,530
決算資金	682		その他	145
自社株取得	360		計	3,065
償還・返済 (個別分)	530 (392)	外部資金 (個別分)		1,164 (1,073)
計	4,229	計		4,229

有利子負債残高

2012年度末:6,425億円
2013年度上期末:7,187億円　2013年度末見通し:7,120億円(対当初計画▲40億円)

※その他投融資は、投入金と融資金返済による相殺後。
年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれていない。

主要計数表（連結）

（単位: 億円）

	2013年度 今回見通し	2013年度 前回見通し	2012年度 実績
総資産 (a)	20,840	20,910	19,924
自己資本 (b)	9,740	9,670	9,276
自己資本比率 (b)/(a)	46.7%	46.2%	46.6%
有利子負債 (c)	7,120	7,160	6,425
D/E レシオ (c)/(b)	0.73	0.74	0.69
当期純利益 (d)	1,030	1,010	1,016
減価償却 (e)	1,390	1,400	1,387
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,420	2,410	2,404
設備投資（Capex）	2,540	2,580	1,837
ROA: (d) / (a)	5.1%	4.9%	5.3%
ROE: (d) / (b)	10.8%	10.7%	11.5%
TEP	577	570	598
WACC	3.2%	3.2%	3.2%
総分配性向	60%程度予定	60%程度予定	60.7%

注:
自己資本 = 純資産 − 少数株主持分
ROA = 純利益/総資産（期首・期末平均）
ROE = 純利益/自己資本（期首・期末平均）
BS関連数値は各期末時点の数値
営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却（長期前払費用償却含む）
総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益
＊発行済株式総数：2,517,551,295株(2013年9月30日現在)

TEP（Tokyo Gas Economic Profit）について
TEP=NOPAT−資本コスト（投下資本×WACC）
WACC算定諸元(2013見通し)
・有利子負債コスト　金利1.6%
・株主資本コスト率　10年国債利回過去10年平均 1.3%
・リスクプレミアム 4.0% β 0.75
・自己資本=平均時価総額

株主還元

■当社は、財務方針において総分配性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2020年度に至るまで各年度6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っている。

■今回発表の13年度連結当期純利益見通しに対し、10円の配当を維持し、6割の株主還元を行った場合の見通しは以下の通りとなる。

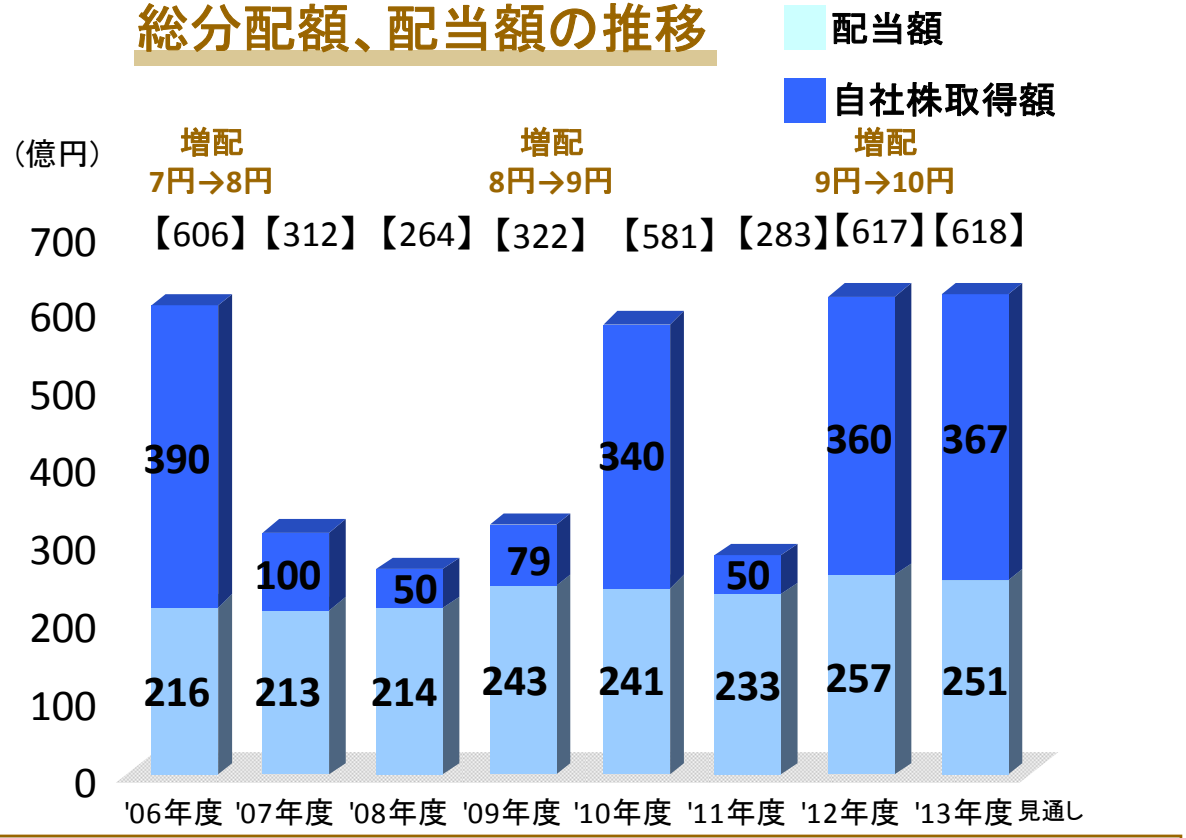
総分配性向60%を維持

総分配性向
60.0%

$$= \frac{\text{2013年度 配当額 251億円} + \text{2014年度 自社株取得 367億円}}{\text{2013年度 連結当期純利益 1,030億円}}$$

※発行済株式総数：2,517,551,295株(2013年9月30日現在)

総分配額、配当額の推移



総分配性向	(60.1%)	(73.6%)	(63.4%)	(60.1%)	(60.9%)	(61.4%)	(60.7%)	(60.0%)

4. チャレンジ2020ビジョンの進捗状況

ビジョンの主な進捗　（2013年4月26日公表以降の取り組み）

1. 原料調達・海外事業

・原料調達先の多様化
LNG購入（140万トン/年）を決定している米国コーブポイントLNGプロジェクトが、米国エネルギー省から自由貿易協定（FTA）未締結国向けLNG輸出許可を取得（2013年9月）。

・海外事業の推進
米国バーネット堆積盆シェールガス開発事業において、新規ガス井の掘削およびガス生産が計画通りに推移。

2. 製造・供給

・扇島工場4号タンクの建設
扇島工場4号タンクの建設が完了（貯蔵能力25万kl、2013年11月から本格稼働）。

・天然ガスインフラの整備
日立LNG基地、茨城～栃木幹線の工事は計画通り進捗、横浜幹線Ⅱ期・新根岸幹線が稼働開始。

3. エネルギーソリューション

・分散型エネルギーシステムの普及・拡大
世界初のマンション向けエネファームをパナソニック株式会社と共同開発し、受注を開始（2013年10月）。

・電力事業の拡大
扇島パワーステーション3号機の建設に着手（2013年6月）。

料金改定後の中長期収支の見通しについて

TOKYO GAS

■見通し

- 今後ガス粗利は、販売量が拡大するため改善し、海外事業収益の拡大も寄与することから、日立LNG基地の償却費負担増加を乗り越えて、2016年度には2013年度並みの連結純利益を見込む。
- それ以降2020年度に至るまで着実にビジョンを上回る連結純利益を見越している。

■参考

□ 主要営業係数

	今回見通し	ﾁｬﾚﾝｼﾞ2020ﾋﾞｼﾞｮﾝ
連結営業ｷｬｯｼｭﾌﾛｰ 2012－2020計	23,700億円	22,400億円 (2,500億円/年　平均)
ROE （2020年度）	10%程度	8%程度
ROA （2020年度）	5%程度	4%程度
D/Eレシオ （2020年度）	0.7程度	0.8程度

□ キャッシュフロー配分（2012～2020累計）

	今回見通し	ﾁｬﾚﾝｼﾞ2020ﾋﾞｼﾞｮﾝ
設備投資	19,300億円(73%)	16,800億円(68%)
投融資	2,000億円(7%)	3,800億円(16%)
株主還元	5,100億円(20%)	4,200億円(17%)
外部借入	2,700億円	2,400億円

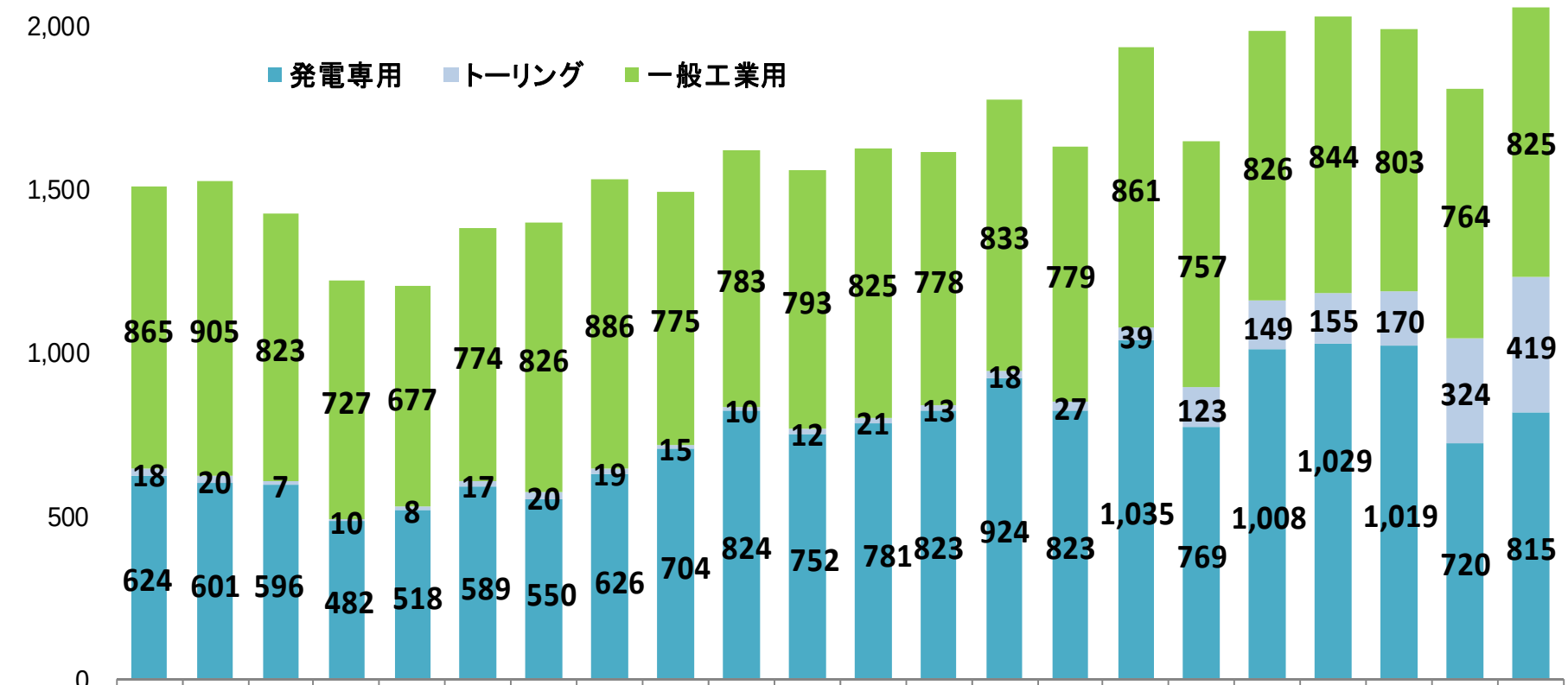
5. 参考資料

工業用ガス販売量（トーリングによるガス使用量含む）の推移（四半期毎）

TOKYO GAS

連結工業用ガス販売量推移

（百万m³, 45MJ/m³）



	08 1Q	08 2Q	08 3Q	08 4Q	09 1Q	09 2Q	09 3Q	09 4Q	10 1Q	10 2Q	10 3Q	10 4Q	11 1Q	11 2Q	11 3Q	11 4Q	12 1Q	12 2Q	12 3Q	12 4Q	13 1Q	13 2Q
合計	1,507	1,526	1,426	1,219	1,203	1,380	1,396	1,531	1,494	1,617	1,557	1,627	1,614	1,775	1,629	1,935	1,649	1,983	2,028	1,992	1,808	2,059
一般工業用	865	905	823	727	677	774	826	886	775	783	793	825	778	833	779	861	757	826	844	803	764	825
トーリング	18	20	7	10	8	17	20	19	15	10	12	21	13	18	27	39	123	149	155	170	324	419
発電専用	624	601	596	482	518	589	550	626	704	824	752	781	823	924	823	1,035	769	1,008	1,029	1,019	720	815

※リーマンショック

※東日本大震災

原油価格・為替レート変動の粗利影響感度

原油価格JCCが $1/bbl 上昇する場合

（単位:億円）

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下　期
変動時期	第3四半期	▲2	▲10	▲12
	第4四半期		▲1	▲1
	下　期	▲2	▲11	▲13

円ドルレートが ¥1/$ 円安になる場合

（単位:億円）

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下　期
変動時期	第3四半期	▲13	12	▲1
	第4四半期		▲16	▲16
	下　期	▲13	▲4	▲17

TOKYO GAS

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531

参考資料

		ページ
実績編		
・連結	主要決算数値（13年度 対 12年度）	1
	会社別・セグメント別売上高内訳	2
	資産構成変化（13年9月末 対 13年3月末）	3
・個別	主要決算数値（13年度 対 12年度）	4
	営業主要計数 内訳（13年度 対 12年度）	5
	主要決算数値（13年度 対 7/31見通し）	6
	営業主要計数 内訳（13年度 対 7/31見通し）	7
・連結	営業キャッシュフロー　及び　設備投資内訳	8
見通し編		
・個別	経済フレーム及び年度収支影響感度	9
・連結	主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）	10
・個別	主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）	11
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 7/31見通し）	12
	主要決算数値（今回見通し 対 12年度）	13
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 12年度）	14
・連結	営業キャッシュフロー　及び　設備投資内訳	15

実績編

連結 主要決算数値（13年度 対 12年度）

第2四半期実績

（単位：億円未満切捨て）

	FY13 2Q	FY12 2Q	増減		備考
売上高	9,335	8,637	698	8.1%	都市ｶﾞｽ＋363(単価増)、その他ｴﾈﾙｷﾞｰ＋80(LNG販売＋129)
営業利益	685	650	35	5.3%	器具及びｶﾞｽ工事＋15、その他ｴﾈﾙｷﾞｰ＋15(電力＋18)
経常利益	649	670	−21	−3.1%	営業外▲55(為替ﾚｰﾄ差損益▲42)
当期純利益	427	399	28	7.0%	投資有価証券評価損+46(0←▲46)、関係会社株式売却益▲29(0←+29)、減損損失▲15(▲20←▲5)

総資産 ※	20,183	19,924	259	1.3%	有形・無形固定資産＋653（設備投資1,219、償却▲665)、投資その他の資産＋184、流動資産▲577(譲渡性預金▲410)
自己資本 ※	9,461	9,276	185	2.0%	当期純利益427、為替換算調整勘定＋185、自己株式市場買付▲359、配当金支払▲141
自己資本比率 ※ （%）	46.9%	46.6%	0.3	—	総資産の増加率(＋1.3%)に対し、自己資本の増加率(＋2.0%)が大きかったため上昇
総資本回転率 （回転）	0.47	0.47	0.00	—	
有利子負債残高 ※	7,187	6,425	762	11.9%	東京ｶﾞｽ＋694
当期純利益	427	399	28	7.0%	
減価償却(*2･3)	665	671	−6	−0.9%	東京ｶﾞｽ▲16、TGﾌﾟﾙｰﾄ＋7 （個別ﾍﾞｰｽ）
営業ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ(*1)	1,093	1,071	22	2.1%	
設備投資(*2)	1,219	755	464	61.4%	[当期]東京ｶﾞｽ 503、TGﾊﾞｰﾈｯﾄ 463(個別ﾍﾞｰｽ)
1株当たり四半期純利益（円／株）	16.97	15.53	1.44	9.3%	当期純利益増（＋28）により上昇
1株当たり純資産 ※ （円／株）	376.73	360.70	16.03	4.4%	

FY12 2Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末(2013年3月末)数値を表示（※印付き項目）

(*1)営業ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰは連結ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ計算書値ではなく「当期純利益＋減価償却」で定義した簡便法で算定
(*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額
(*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

連結会社別・セグメント別売上高内訳表

百万円

		セグメント別外部売上高						外部	内部	単独決算
		都市ガス	器具及び工事	その他エネルギー	不動産	その他	計	売上高比率	売上高	売上高
東京ガス(A)		614,541	61,048	84,731	0	3,385	763,706	89.8%	86,778	850,485
連結会社別外部売上高計	東京ガス都市開発	0	0	0	5,135	0	5,135	35.8%	9,197	14,333
	扇島パワー	0	0	2	0	0	2	0.1%	4,678	4,681
	長野都市ガス	5,520	654	0	0	0	6,174	100.0%	0	6,174
	エネルギーアドバンス	0	0	38,012	0	0	38,012	95.3%	1,877	39,889
	ガスター	0	8,234	0	0	0	8,234	48.6%	8,719	16,954
	東京エルエヌジータンカー	0	0	0	0	2,613	2,613	23.8%	8,357	10,970
	東京ガスエネルギー	168	0	12,486	0	0	12,655	76.9%	3,802	16,457
	キャプティ	0	7,843	0	0	1,545	9,388	37.6%	15,613	25,002
	東京ガスケミカル	0	0	10,108	0	0	10,108	86.7%	1,557	11,665
	千葉ガス	7,796	585	388	0	0	8,769	95.5%	412	9,181
	ティージー情報ネットワーク	0	0	0	0	214	214	2.5%	8,463	8,677
	東京ガス・エンジニアリング	0	0	0	0	12,400	12,400	60.2%	8,211	20,612
	ニジオ	0	0	7,369	0	0	7,369	14.3%	44,117	51,486
	その他	8,297	8,793	10,131	397	21,100	48,720	67.0%	23,945	72,666
連結子会社計(B)		21,782	26,111	78,499	5,532	37,873	169,799	55.0%	138,955	308,754
連結会社合計		636,323	87,160	163,230	5,532	41,259	933,506	80.5%	225,733	1,159,240
外部売上比率		94.4%	74.7%	62.3%	35.2%	45.6%	80.5%	–	–	–
内部売上高(C)		37,987	29,482	98,919	10,201	49,142	225,733	–	225,733	–
単純合算売上高(A)+(B)+(C)		674,311	116,642	262,150	15,734	90,401	1,159,240	–	–	–

連結資産構成の変化（13年9月末 対 13年3月末）

（対前年度末比較）　　億円

	2013/09末	構成比	2013/03末	構成比	増減		増減内訳
【資産の部】							
固定資産	15,360	76.1%	14,523	72.9%	837	5.8%	(有形・無形固定資産)設備投資1,219、償却▲665 (投資その他の資産)投資有価証券＋208(時価評価差額による増加＋86、為替＋74 他)
流動資産	4,823	23.9%	5,400	27.1%	−577	−10.7%	譲渡性預金▲410、売掛金▲207
資産合計	20,183	100.0%	19,924	100.0%	259	1.3%	

【負債の部】							
有利子負債	7,187	35.6%	6,425	32.2%	762	11.9%	(社債)第37回債発行＋200 (長期借入金)新規借入＋630、返済▲169
退職給付引当金	848	4.2%	861	4.3%	−13	−1.5%	
支払手形･買掛金	722	3.6%	921	4.6%	−199	−21.6%	買掛金▲199
その他負債	1,795	8.9%	2,250	11.3%	−455	−20.2%	未払金等▲314、未払法人税等▲146
負債合計	10,553	52.3%	10,458	52.5%	95	0.9%	
【純資産(資本)の部】							
株主資本	9,143	45.3%	9,217	46.3%	−74	−0.8%	(利益剰余金・自己株式)▲74(自己株市場買付▲359、配当金支払▲141、 当期純利益427)
その他の包括利益累計額	317	1.6%	58	0.3%	259	440.4%	(為替換算調整勘定)＋185、(その他有価証券評価差額金)＋61
少数株主持分	169	0.8%	188	0.9%	−19	−10.2%	
純資産(資本)合計	9,630	47.7%	9,465	47.5%	165	1.7%	自己資本比率46.6%(2013/03末)→46.9%(2013/09末)
負債・純資産(資本)合計	20,183	100.0%	19,924	100.0%	259	1.3%	

個別 主要決算数値（13年度 対 12年度）

第2四半期実績

億円

	今期	前期	増減	
総売上高	8,504	7,687	817	10.6%
営業利益	551	469	82	17.6%
経常利益	583	593	−10	−1.7%
当期純利益	395	374	21	5.8%

料金スライドの収支への影響

億円

	今期	前期	増減
料金によるスライド回収	780	223	557
原料費の増加分	671	216	455
差し引き	109	7	102

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前期	増減	
原油価格	107.66	113.97	−6.31	$/bbl
為替レート	98.86	79.41	19.45	円/$

億円

		今期	前期	増減		
製品売上高（ガス売上高）		6,473	5,880	593	10.1%	数量・料金構成差+23億円、単価差+570億円
営業費用	原材料費	4,046	3,485	561	16.1%	数量・原料構成差+94億円、単価差+467億円（為替影響=+673、油価影響＝▲182）
	（粗利）	(2,427)	(2,395)	(32)	(1.3%)	数量・構成差▲71億円、単価差+103億円
	諸給与	462	476	−14	−3.1%	数理計算上の差異費用▲11億円　他
	諸経費	1,129	1,112	17	1.5%	詳細は下記参照
	減価償却費	481	496	−15	−3.0%	償却の進行に伴う減▲15億円
	LNG受託加工費	−23	−23	0	−	
	計	6,095	5,547	548	9.9%	
	受注工事収支	0	−2	2	−	新設件数増　他
	器具販売等収支	68	57	11	18.6%	器具収支　ｴﾈﾌｧｰﾑ販売台数増・費用減＋9億円　他
営業雑収支		67	54	13	23.6%	
附帯事業収支		105	80	25	30.6%	電力販売＋22億円、LNG販売＋5億円 他
営業利益		551	469	82	17.6%	
営業外収支		32	124	−92	−74.2%	関係会社受取配当▲64億円（今期48、前期112）、専用設備料収入▲21億円 他
経常利益		583	593	−10	−1.7%	
特別利益		0	0	0	−	
特別損失		20	51	−31	−60.7%	今期：固定資産減損損失＋20億円、前期：投資有価証券評価損＋46億円 他
法人税等		167	167	0	−0.1%	
当期純利益		395	374	21	5.8%	

諸経費

億円

	今期	前期	増減		
修繕費	172	167	5	2.6%	ガス栓対策引当差額＋3億円　他
消耗品費	70	69	1	1.2%	
賃借料	91	90	1	1.0%	
委託作業費	313	315	−2	−0.9%	
租税課金	221	211	10	4.6%	売上高増に伴う事業税＋8億円 他
需要開発費	88	93	−5	−4.5%	ｲﾍﾞﾝﾄ広告費▲3億円　他
その他	174	167	7	4.7%	光熱費＋5億円　他

個別 営業主要計数(13年度 対 12年度)

第2四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前期	増減	
お客さま件数	10,725	10,602	123	1.2%
新設件数	96	89	7	7.4%

個別ガス販売実績

百万m3

			今期	前期	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)			133.7	144.8	−11.1	−7.7%	気温影響▲9.9m3(▲6.9%)、日数差異▲0.3m3(▲0.2%)、その他▲0.9m3(▲0.6%)
家庭用			1,209	1,293	−84	−6.5%	気温影響▲89百万m3(▲6.9%)、日数差異▲2百万m3(▲0.2%)、件数差＋16百万m3(+1.2%)、その他増減▲9百万m3(▲0.6%)
業務用・工業用		商業用	865	873	−8	−0.9%	
		その他用	435	437	−2	−0.7%	
	業務用計		1,300	1,310	−10	−0.8%	気温影響＋3百万m3(＋0.2%)、その他増減▲13百万m3(▲1.0%)
		発電専用	1,535	1,318	217	16.4%	
		発電専用以外	1,494	1,484	10	0.6%	
	工業用計		3,028	2,802	226	8.1%	新規需要増
	計		4,328	4,112	216	5.3%	
卸供給			1,033	1,026	7	0.7%	気温影響▲4百万m3(▲0.4%)、卸先需要家の既存物件稼働増＋11百万m3(＋1.1%)
合計			6,571	6,431	140	2.2%	気温影響▲90百万m3(▲1.4%)、発電専用＋217百万m3(＋3.4%)、工業用(発電専用以外)＋10百万m3(＋0.2%)、卸供給(気温影響除き)＋11百万m3(＋0.2%)、その他▲8百万m3(▲0.2%)
(内大口供給)			3,641	3,416	225	6.6%	

個別 主要決算数値（13年度 対 7/31見通し）

第2四半期実績

億円

	今期	前回7/31	増減	
総売上高	8,504	8,560	−56	−0.6%
営業利益	551	540	11	2.1%
経常利益	583	560	23	4.2%
当期純利益	395	380	15	4.2%

料金スライドの収支への影響

億円

	今期	前回7/31	増減
料金によるスライド回収	780	775	5
原料費の増加分	671	666	5
差し引き	109	109	0

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前回7/31	増減	
原油価格	107.66	108.87	−1.21	$/bbl
為替レート	98.86	99.39	−0.53	円/$

億円

	今期	前回7/31	増減		
製品売上高（ガス売上高）	6,473	6,530	−57	−0.9%	数量・料金構成差▲62億円、単価差+5億円
原材料費	4,046	4,074	−28	−0.7%	数量・原料構成差▲33億円、単価差+5億円（為替影響=▲15、油価影響＝▲1）
（粗利）	(2,427)	(2,456)	(−29)	(−1.2%)	数量・構成差▲29億円
諸給与	462	469	−7	−1.5%	給料・賞与減　他
諸経費	1,129	1,141	−12	−1.1%	詳細は下記参照
減価償却費	481	484	−3	−0.6%	設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲3億円
LNG受託加工費	−23	−23	0	−	
計	6,095	6,145	−50	−0.8%	
受注工事収支	0	−2	2	−	新設件数増　他
器具販売等収支	68	58	10	17.2%	器具収支 GHP販売台数増・費用減＋6億円 他
営業雑収支	67	56	11	19.6%	
附帯事業収支	105	99	6	6.1%	電力販売＋4億円、LNG販売＋1億円　他
営業利益	551	540	11	2.1%	
営業外収支	32	20	12	60.0%	関係会社受取配当金＋8億円（今回48、前回40） 他
経常利益	583	560	23	4.2%	
特別利益	0	0	0	−	
特別損失	20	0	20	−	今期：固定資産減損損失＋20億円 他
法人税等	167	180	−13	−7.2%	
当期純利益	395	380	15	4.2%	

諸経費

億円

	今期	前回7/31	増減		
修繕費	172	171	1	0.6%	
消耗品費	70	71	−1	−1.4%	
賃借料	91	92	−1	−1.1%	
委託作業費	313	317	−4	−1.3%	
租税課金	221	220	1	0.5%	
需要開発費	88	97	−9	−9.3%	ｲﾍﾞﾝﾄ広告費▲5億円、大口営業費▲3億円　他
その他	174	173	1	0.6%	

個別 主要決算数値（13年度 対 7/31見通し）

第２四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前回7/31	増減	
お客さま件数	10,725	10,725	0	0.0%
新設件数	96	93	3	2.2%

ガス販売量内訳

百万m3

			今期	前回7/31	増減		
家庭用1件当り販売量（m3）			133.7	139.2	−5.4	−3.9%	気温影響▲3.8m3(▲2.7%)、日数差異▲0.1m3(▲0.1%)、その他▲1.5m3(▲1.1%)
家庭用			1,209	1,243	−34	−2.7%	気温影響▲34百万m3(▲2.7%)、日数差異▲1百万m3(▲0.1%)、その他＋1百万m3(＋0.1%)
業務用・工業用		商業用	865	853	12	1.5%	
		その他用	435	431	4	0.9%	
	業務用計		1,300	1,284	16	1.3%	気温影響+31百万m3(＋2.4%)、その他増減▲15百万m3（▲1.1%）
		発電専用	1,535	1,553	−18	−1.1%	
		発電専用以外	1,494	1,509	−15	−1.0%	
	工業用計		3,028	3,061	−33	−1.1%	
	計		4,328	4,345	−17	−0.4%	
卸供給			1,033	1,043	−9	−0.9%	気温影響▲3百万m3(▲0.3%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲6百万m3(▲0.6%)
合計			6,571	6,630	−59	−0.9%	気温影響▲6百万m3(▲0.1%)、発電専用▲18百万m3(▲0.3%)、 工業用(発電専用以外)▲15百万m3(▲0.2%)、
（内大口供給）			3,641	3,670	−29	−0.8%	卸供給(気温影響除き)▲6百万m3(▲0.1%)、その他▲14百万m3(▲0.2%)

連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

営業キャッシュフロー

実績（今期２Ｑ　対　前期２Ｑ）　　億円

		今期	前年同期	増減	
	当期純利益	427	399	28	7.0%
	減価償却	665	671	-6	-0.9%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		1,093	1,071	22	2.1%

個別実績（今期２Ｑ　対　前期２Ｑ）　　億円

		今期	前年同期	増減	
	当期純利益	395	374	21	5.8%
	減価償却	499	515	-16	-3.0%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		894	889	5	0.6%

実績（今期２Ｑ　対　前回見通し）　　億円

		今期	前回7/31	増減	
	当期純利益	427	400	27	6.8%
	減価償却	665	660	5	0.8%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		1,093	1,060	33	3.1%

個別実績（今期２Ｑ　対　前回見通し）　　億円

		今期	前回7/31	増減	
	当期純利益	395	380	15	4.2%
	減価償却	499	502	-3	-0.5%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		894	882	12	1.4%

設備投資内訳

実績（今期２Ｑ　対　前期２Ｑ）　　億円

		今期	前年同期	増減	
東京ｶﾞｽ	製造設備	80	86	-6	-7.3%
	供給設備	366	334	32	9.7%
	業務設備他	56	49	7	15.7%
	計	503	470	33	7.2%
連結子会社設備投資（連結相殺含む）		715	285	431	150.8%
合計		1,219	755	464	61.4%

製造設備　：日立LNG基地関連他▲6億円
供給設備　：安定供給関連＋25億円、保安関連他＋7億円
業務設備他：その他業務設備他＋7億円

実績（今期２Ｑ　対　前回見通し）　　億円

		今期	前回7/31	増減	
東京ｶﾞｽ	製造設備	80	121	-41	-34.1%
	供給設備	366	390	-24	-5.9%
	業務設備他	56	78	-22	-28.0%
	計	503	590	-87	-14.7%
連結子会社設備投資（連結相殺含む）		715	741	-26	-3.5%
合計		1,219	1,330	-111	-8.3%

製造設備　：日立LNG基地関連他▲41億円
供給設備　：需要開発関連▲6億円、安定供給・保安関連他▲18億円
業務設備他：その他業務設備他▲22億円

見通し編

個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

経済フレーム

	今回10/30見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	107.66	110.00	108.83	$/bbl
為替ﾚｰﾄ	98.86	100.00	99.43	円/$
	前回7/31見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	108.87	110.00	109.43	$/bbl
為替ﾚｰﾄ	99.39	100.00	99.70	円/$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	-1.21	0.00	-0.60	$/bbl
為替ﾚｰﾄ	-0.53	0.00	-0.27	円/$

原油価格・為替ﾚｰﾄ変動の年度収支影響感度

1$/bbl	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 5	0	▲ 5
原料	▲ 17	▲ 1	▲ 18
粗利	12	1	13

※油価が1$下がった場合の収支影響額（億円）

1円/$	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 21	▲ 5	▲ 26
原料	▲ 22	▲ 21	▲ 43
粗利	1	16	17

※為替が1円円高になった場合の収支影響額（億円）

連結 主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）

通期見通し

億円

		今回 (10/30)	前回 (7/31)	増減		備考
売上高		20,800	20,960	−160	−0.8%	都市ガス▲207（売上数量減他）、その他エネルギー＋52（電力売上高増他）
営業利益		1,590	1,610	−20	−1.2%	都市ガス▲75（売上数量減他）、器具・ガス工事＋17、その他エネルギー＋13（電力売上高増他）
経常利益		1,530	1,550	−20	−1.3%	
当期純利益		1,030	1,010	20	2.0%	設備投資減税の適用による法人税の負担額等の減少他
総資産		20,840	20,910	−70	−0.3%	
自己資本		9,740	9,670	70	0.7%	
自己資本比率	（%）	46.7	46.2	0.5	−	
総資本回転率	（回転）	1.02	1.03	−0.01	−	
ROA（*2）	（%）	5.1	4.9	0.2	−	
ROE（*2）	（%）	10.8	10.7	0.1	−	
有利子負債残高		7,120	7,160	−40	−0.6%	
D／Eレシオ		0.73	0.74	−	−	
	当期純利益	1,030	1,010	20	2.0%	
	減価償却(*3･4)	1,390	1,400	−10	−0.7%	
営業ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ(*1)		2,420	2,410	10	0.4%	
設備投資(*3)		2,540	2,580	−40	−1.6%	
TEP		577	570	7	1.2%	
（WACC）		3.2%	3.2%	−	−	
1株当たり当期純利益	（円／株）	40.93	40.14	0.79	2.0%	
1株当たり純資産	（円／株）	387.84	383.85	3.98	1.0%	
総分配性向(*5)		(*6) −	−	−	−	

(*1)営業ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰは連結ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ計算書値ではなく「当期純利益＋減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(*5)n年度総分配性向＝ ((n年度の年間配当金総額)＋(n＋1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

個別 主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）

通期見通し

億円

	今回	前回	増減	
総売上高	18,710	18,890	−180	−1.0%
営業利益	1,220	1,280	−60	−4.7%
経常利益	1,220	1,260	−40	−3.2%
当期純利益	840	860	−20	−2.3%

料金スライドの収支への影響

億円

	今回	前回	増減
料金によるスライド回収	1,703	1,766	−63
原料費の増加分	1,479	1,536	−57
差し引き	224	230	−6

経済フレーム

	今回	前回	増減	
原油価格	108.83	109.43	−0.60	$/bbl
為替レート	99.43	99.70	−0.27	円/$

金額は基準価格に対する増減額

億円

		今回	前回	増減		
製品売上高（ガス売上高）		14,380	14,590	−210	−1.4%	数量・料金構成差▲87億円、単価差▲123億円（料金改定影響▲60億円）
営業費用	原材料費	9,106	9,219	−113	−1.2%	数量・原料構成差▲56億円、単価差▲57億円（為替影響=▲12、油価影響＝▲33）
	（粗利）	(5,274)	(5,371)	(−97)	(−1.8%)	数量・構成差▲31億円、単価差▲66億円
	諸給与	940	948	−8	−0.8%	設備科目等への振替増　他
	諸経費	2,462	2,468	−6	−0.2%	詳細は下記参照
	減価償却費	1,023	1,027	−4	−0.4%	設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲4億円
	LNG受託加工費	−47	−47	0	−	
	計	13,484	13,615	−131	−1.0%	
	受注工事収支	6	4	2	50.0%	新設件数増　他
	器具販売等収支	98	92	6	6.5%	器具収支　GHP販売台数増＋4億円　他
営業雑収支		104	96	8	8.3%	
附帯事業収支		220	209	11	5.3%	電力販売＋8億円、LNG販売＋3億円 他
営業利益		1,220	1,280	−60	−4.7%	
営業外収支		0	−20	20	−	関係会社受取配当金＋11億円（今回51、前回40） 他
経常利益		1,220	1,260	−40	−3.2%	
特別利益		0	0	0	−	
特別損失		20	0	20	−	固定資産減損損失＋20億円 他
法人税等		360	400	−40	−10.0%	
当期純利益		840	860	−20	−2.3%	

諸経費

億円

	今回	前回	増減	
修繕費	363	360	3	0.8%
消耗品費	148	149	−1	−0.7%
賃借料	182	182	0	0.0%
委託作業費	649	652	−3	−0.5%
租税課金	460	463	−3	−0.6%
需要開発費	257	260	−3	−1.2%
その他	403	402	1	0.2%

個別 主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）

通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前回	増減	
お客さま件数	10,809	10,804	5	0.0%
新設件数	225	218	7	3.5%

ガス販売量内訳

百万m3

			今回	前回	増減		
家庭用1件当り販売量（m3）			366.3	370.0	−3.7	−1.0%	気温影響▲3.7m3(▲1.0%)
家庭用			3,321	3,355	−34	−1.0%	気温影響▲34百万m3(▲1.0%)
業務用・工業用		商業用	1,753	1,740	13	0.7%	
		その他用	897	893	5	0.5%	
	業務用計		2,651	2,633	18	0.7%	気温影響+31百万m3(＋1.2%)、その他増減▲13百万m3（▲0.5%）
		発電専用	3,028	3,066	−38	−1.2%	
		発電専用以外	3,046	3,067	−21	−0.7%	
	工業用計		6,074	6,133	−59	−1.0%	
	計		8,725	8,766	−41	−0.5%	
卸供給			2,234	2,258	−25	−1.1%	気温影響▲3百万m3(▲0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲22百万m3(▲1.0%)
合計			14,279	14,379	−100	−0.7%	気温影響▲6百万m3(±0.0%)、発電専用▲38百万m3(▲0.3%)、 工業用(発電専用以外)▲21百万m3(▲0.1%)、
（内大口供給）			7,275	7,334	−58	−0.8%	卸供給(気温影響除き)▲22百万m3(▲0.2%)、その他▲13百万m3(▲0.1%)

個別 主要決算数値（今回見通し 対 12年度）

通期見通し

億円

	今回	前期	増減	
総売上高	18,710	17,142	1,568	9.1%
営業利益	1,220	1,048	172	16.4%
経常利益	1,220	1,145	75	6.5%
当期純利益	840	785	55	6.9%

料金スライドの収支への影響

億円

	今回	前期	増減
料金によるスライド回収	1,703	415	1,288
原料費の増加分	1,479	536	943
差し引き	224	−121	345

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今回	前期	増減	
原油価格	108.83	113.88	−5.05	$/bbl
為替レート	99.43	82.91	16.52	円/$

億円

		今回	前期	増減		
製品売上高（ガス売上高）		14,380	13,184	1,196	9.1%	数量・料金構成差▲52億円、単価差+1,248億円
営業費用	原材料費	9,106	8,068	1,038	12.9%	数量・原料構成差+81億円、単価差+957億円（為替影響=+1,370、油価影響＝▲340）
	（粗利）	(5,274)	(5,116)	(158)	(3.1%)	数量・構成差▲133億円、単価差+291億円
	諸給与	940	974	−34	−3.5%	数理計算上の差異費用▲22億円　他
	諸経費	2,462	2,395	67	2.8%	詳細は下記参照
	減価償却費	1,023	1,020	3	0.3%	設備新規取得に伴う償却費増他+3億円
	LNG受託加工費	−47	−48	1	−	
	計	13,484	12,410	1,074	8.7%	
	受注工事収支	6	3	3	100.0%	新設件数増　他
	器具販売等収支	98	103	−5	−4.9%	器具収支　GHP販売台数減▲2億円　他
営業雑収支		104	107	−3	−2.8%	
附帯事業収支		220	167	53	31.7%	LNG販売＋29億円、電力販売＋22億円、LPG販売＋2億円　他
営業利益		1,220	1,048	172	16.4%	
営業外収支		0	97	−97	−	関係会社受取配当金▲64億円(当期51、前期115)、専用設備料収入▲20億円　他
経常利益		1,220	1,145	75	6.5%	
特別利益		0	10	−10	−	前期：投資有価証券売却益＋10億円
特別損失		20	13	7	53.8%	今回：固定資産減損損失＋20億円　前期：固定資産減損損失＋13億円
法人税等		360	356	4	1.1%	
当期純利益		840	785	55	6.9%	

諸経費

億円

	今回	前期	増減		
修繕費	363	363	0	0.0%	
消耗品費	148	149	−1	−0.7%	
賃借料	182	178	4	2.2%	横浜ショールーム新規賃借　他
委託作業費	649	642	7	1.1%	横浜ショールーム運営委託　他
租税課金	460	440	20	4.5%	売上増に伴う事業税増＋15億円　他
需要開発費	257	247	10	4.0%	家庭用営業＋13億円　他
その他	403	376	27	7.2%	本支管除却費増＋13億円、光熱費＋9億円　他

個別 主要決算数値(今回見通し 対 12年度)

通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前期	増減	
お客さま件数	10,809	10,678	131	1.2%
新設件数	225	208	17	8.0%

ガス販売量内訳

百万m3

			今回	前期	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)			366.3	382.7	−16.4	−4.3%	気温影響▲13.0m3(▲3.4%)、日数差異▲0.4m3(▲0.1%)、その他増減▲3.0m3(▲0.8%)
家庭用			3,321	3,427	−106	−3.1%	気温影響▲118百万m3(▲3.4%)、日数差異▲2百万m3(▲0.1%)、件数差異+41百m3(+1.2%)、その他増減▲27百万m3(▲0.8%)
業務用・工業用		商業用	1,753	1,769	−15	−0.9%	
		その他用	897	921	−24	−2.6%	
	業務用計		2,651	2,689	−39	−1.4%	気温影響▲19百万m3(▲0.7%)、その他増減▲20百万m3(▲0.7%)
		発電専用	3,028	2,856	173	6.0%	
		発電専用以外	3,046	3,033	13	0.4%	
	工業用計		6,074	5,889	186	3.2%	新規需要増
	計		8,725	8,578	147	1.7%	
卸供給			2,234	2,196	37	1.7%	気温影響▲9百万m3(▲0.4%)、卸先需要家の既存物件稼働増＋46百万m3(＋2.1%)
合計			14,279	14,201	78	0.6%	気温影響▲146百万m3(▲1.0%)、発電専用+173百万m3(+1.2%)、 工業用(発電専用以外)＋13百万m3(＋0.1%)、
(内大口供給)			7,275	7,096	179	2.5%	卸供給(気温影響除き)＋46百万m3(＋0.3%)、その他▲8百万m3(▲0.0%)

連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

営業キャッシュフロー

見通し（今回通期 対 前期） 億円

		今回10/30	前期	増減	
	当期純利益	1,030	1,016	14	1.3%
	減価償却	1,390	1,387	3	0.2%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		2,420	2,404	16	0.6%

個別見通し（今回通期 対 前期） 億円

		今回10/30	前期	増減	
	当期純利益	840	785	55	6.9%
	減価償却	1,059	1,059	0	0.1%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		1,899	1,844	55	3.0%

見通し（今回通期 対 前回見通し） 億円

		今回10/30	前回7/31	増減	
	当期純利益	1,030	1,010	20	2.0%
	減価償却	1,390	1,400	-10	-0.7%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		2,420	2,410	10	0.4%

個別見通し（今回通期 対 前回見通し） 億円

		今回10/30	前回7/31	増減	
	当期純利益	840	860	-20	-2.3%
	減価償却	1,059	1,065	-6	-0.5%
営業CF（当期純利益＋減価償却）		1,899	1,925	-26	-1.4%

＊　減価償却には長期前払費用償却を含む

設備投資内訳

（今回通期見通し 対 前期） 億円

		今回10/30	前期	増減	
東京ｶﾞｽ	製造設備	284	228	56	24.0%
	供給設備	933	875	58	6.6%
	業務設備他	207	166	41	24.5%
	計	1,425	1,271	154	12.1%
連結子会社設備投資（連結相殺含む）		1,115	568	547	96.3%
合計		2,540	1,837	703	38.2%

製造設備　：日立LNG基地関連他＋56億円
供給設備　：需要開発関連他＋23億円、保安関連他＋35億円
業務設備他：建物・システム関連他＋41億円
連結子会社：TGバーネット他

（今回通期見通し 対 前回見通し） 億円

		今回10/30	前回7/31	増減	
東京ｶﾞｽ	製造設備	284	282	2	0.6%
	供給設備	933	966	-33	-3.4%
	業務設備他	207	217	-10	-4.4%
	計	1,425	1,466	-41	-2.8%
連結子会社設備投資（連結相殺含む）		1,115	1,115	0	0.0%
合計		2,540	2,580	-40	-1.6%

供給設備　：保安関連他▲17億円、安定供給関連▲16億円
業務設備他：建物・システム関連他▲10億円

東京ガス株式会社

＜見通しに関する注意事項＞
このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

2013年度　下期見通し

TOKYO GAS

2013年度 下期見通し(2013.10.1 － 2014.3.31)　＜対前回見通し＞

TOKYO GAS

決算実績のポイント　減収減益

（ ＋ － ,+/▲は利益に対する影響を示す，億円）

売上高　▲75:
- － 都市ガス売上減　（▲152：数量減▲25、スライド差▲68、料金改定▲60他　）
- ＋ 電力売上増　（+30：販売数量増）
- － LNG販売売上減　（▲14：数量減等）

営業費用　+40:
- ＋ 都市ガス原材料費等減　（+83：数量減+22、スライド差+61）
- － 電力原材料費等増　（▲28：数量増等）
- ＋ LNG販売　原材料費減（+16：数量減等）

営業利益　▲35:
- － 都市ガス粗利減少　（▲69 ：料金改定影響▲60）
- ＋ 電力利益増　（+2：数量増等）
- ＋ LNG販売利益増　（+2 ：原材料費減 ）

（単位：億円）

	下期今回見通し	下期前回見通し	増減	%	下期前年度実績	増減	%
ガス販売量（百万m^3, 45MJ）	7,810	7,858	▲48	▲0.6%	8,392	▲582	▲6.9%
売上高	11,465	11,540	▲75	▲0.7%	10,519	+946	+9.0%
営業費用	10,560	10,600	▲40	▲0.4%	9,713	+847	+8.7%
営業利益	905	940	▲35	▲3.7%	806	+99	+12.3%
経常利益･･･①	881	940	▲59	▲6.4%	804	+77	+9.5%
当期純利益	603	610	▲7	▲1.3%	617	▲14	▲2.4%
気温影響･･･②	*0*	*0*	*0*	—	*21*	*▲21*	—
スライドタイムラグ･･･③	*112*	*119*	*▲7*	—	*▲132*	*+244*	—
年金数理差異償却額･･･④	*▲11*	*▲11*	*0*	—	*▲22*	*+11*	—
補正経常利益･･･①－(②＋③＋④)	*780*	*832*	*▲52*	*▲6.3%*	*937*	*▲157*	*▲16.8%*
補正当期純利益	*536*	*539*	*▲3*	*▲0.6%*	*705*	*▲169*	*▲24.0%*

経済フレーム(2013年度下期)	為替レート（¥/$）	原油価格（$/bbl）	平均気温（℃）
今回見通し	100.0	110.0	11.7
前回見通し	100.0	110.0	11.7

連結ガス販売量下期見通し

TOKYO GAS

前回見通し→ 今回見通し

▲48百万㎥ (▲0.6%)の減少

[うち気温影響　0百万㎥　0%]

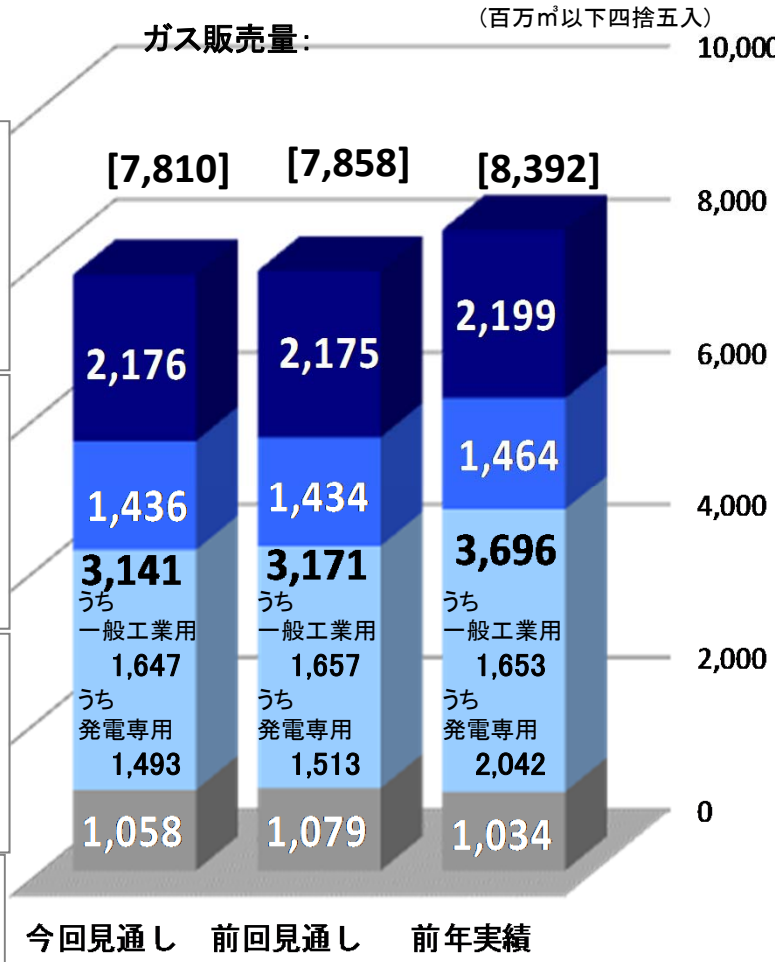
■ 家庭用	+ 1百万㎥ (+0%)
●気温要因	0百万㎥
●日数影響	0百万㎥
●お客さま件数	+2百万㎥
●その他	▲1百万㎥
■ 業務用	+2百万㎥ (+0.1%)
●気温要因	0百万㎥
●日数影響	0百万㎥
●お客さま件数	0百万㎥
●その他	+2百万㎥
■ 工業用	▲30百万㎥ (▲0.9%)
●一般工業用: 既存設備稼働減等	▲10百万㎥
●発電専用: 既存設備稼働減等	▲20百万㎥
■ 卸	▲21百万㎥ (▲1.9%)
●気温要因	0百万㎥
●その他 卸供給事業者需要減等	▲22百万㎥

前年実績→ 今回見通し

▲582百万㎥ (▲6.9%)の減少

[うち気温影響▲56百万㎥▲0.7%の減少]

■ 家庭用	▲23百万㎥ (▲1.0%)
●気温要因	▲29百万㎥
●日数影響	0百万㎥
●お客さま件数	+26百万㎥
●その他	▲20百万㎥
■ 業務用	▲28百万㎥ (▲1.9%)
●気温要因	▲22百万㎥
●日数影響	0百万㎥
●お客さま件数	0百万㎥
●その他	▲7百万㎥
■ 工業用	▲555百万㎥ (▲15.0%)
●一般工業用:	▲ 6 百万㎥
●発電専用:	▲549百万㎥
トーリング影響	▲505百万㎥
■ 卸	+24百万㎥ (+2.3%)
●気温要因	▲5百万㎥
●その他 卸供給事業者需要増等	+29百万㎥



	今回見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
LNG液販売量(千t、ニジオ除く)	447	458	▲11	389	+59
平均気温(℃)	11.7	11.7	+0	11.6	+0.1

トーリング移行によるガス販売量変化

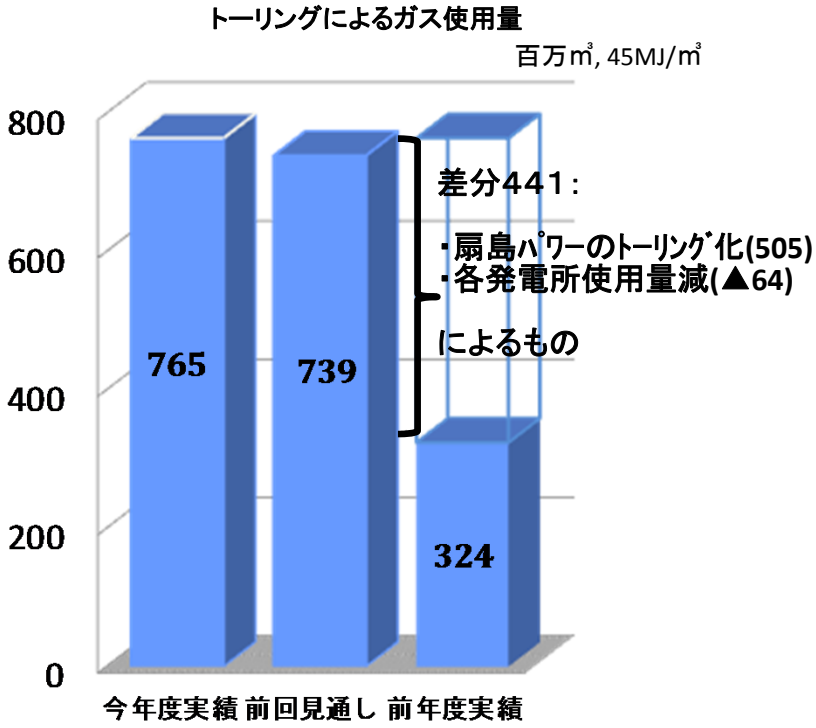
2013年度下期見通し

■ トーリングによるガス使用量込（単位：百万m3）

	今回見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
ガス販売量（財務会計数値）	7,810	7,858	▲48	8,392	▲582
			▲0.6%		▲6.9%
トーリングによるガス使用量	765	739	+26	324	+441
			+3.5%		+136.0%
合計	8,575	8,597	▲22	8,716	▲141
			▲0.3%		▲1.6%

■ 工業用ガス販売量内訳（単位：百万m3）

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	291	1,202	1,493
（対前年実績）	+77(+35.8%)	▲626※(▲34.2%)	▲549(▲26.9%)
（対前回見通し）	▲5(▲1.7%)	▲15(▲1.2%)	▲20(▲1.3%)
一般工業用	96	1,551	1,647
（対前年実績）	+37(+62.2%)	▲43(▲2.7%)	▲6(▲0.4%)
（対前回見通し）	+9(+10.0%)	▲19(▲1.2%)	▲10(▲0.6%)
合計	387	2,754	3,141
（対前年実績）	+114(+41.5%)	▲669(▲19.5%)	▲555(▲15.0%)
（対前回見通し）	+4(+1.0%)	▲34(▲1.2%)	▲30(▲0.9%)



※トーリング：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

※うちトーリング移行分：▲505

2013年度　通期見通し（対当初計画）

TOKYO GAS

2013年度 通期見通し ＜対当初計画＞

TOKYO GAS

決算実績のポイント　減収増益

（ + - ,+/▲は利益に対する影響を示す，億円）

売上高	▲360:	-	都市ガス売上減	（▲447：数量減▲234、スライド差▲158、料金改定▲60等）
		+	電力売上増	（+75：数量増、単価増　）
営業費用	+340:	+	都市ガス原材料費減	（+ 307：数量減+137、為替+45、油価+79等）
		-	電力　原材料費増	（▲46：数量増）
営業利益	▲20:	-	都市ガス営業利益減	（▲121 ：ガス粗利の減▲140(料金改定▲60他)）
		+	電力営業利益増	（+29 ：数量増・単価増）
		+	その他のセグメント利益増（+51：器具・工事+15、電力+29、海外+14等)等	
当期純利益	+20:	+	法人税等減	（+56）

（単位: 億円）

	2013年度今回見通し	2013年度当初計画	増減	%
ガス販売量（百万m^3, 45MJ）	14,483	14,781	▲298	▲2.0%
売上高	20,800	21,160	▲360	▲1.7%
営業費用	19,210	19,550	▲340	▲1.7%
営業利益	1,590	1,610	▲20	▲1.2%
経常利益・・・①	1,530	1,550	▲20	▲1.3%
当期純利益	1,030	1,010	+20	+2.0%
気温影響・・・②	*▲85*	*0*	*▲85*	—
スライドタイムラグ・・・③	*221*	*209*	*+12*	—
年金数理差異償却額・・・④	*▲22*	*▲22*	*0*	—
補正経常利益・・・①ー(②+③+④)	*1,416*	*1,363*	*+53※*	*+3.9%*
補正当期純利益	*955*	*886*	*+69*	*+7.8%*

※+53:ガス販売量減▲12(気温影響▲85控除後)、料金影響▲60、電力+29、海外+14、その他のセグメント利益等+82

経済フレーム	為替レート（¥/$）	原油価格（$/bbl）	平均気温（℃）
2013年度（今回）	99.43	108.83	17.0
2013年度（当初）	100.00(▲0.57)	110.00(▲1.17)	16.6(+0.4)

（ ）内対当初計画増減

連結ガス販売量通期見通し

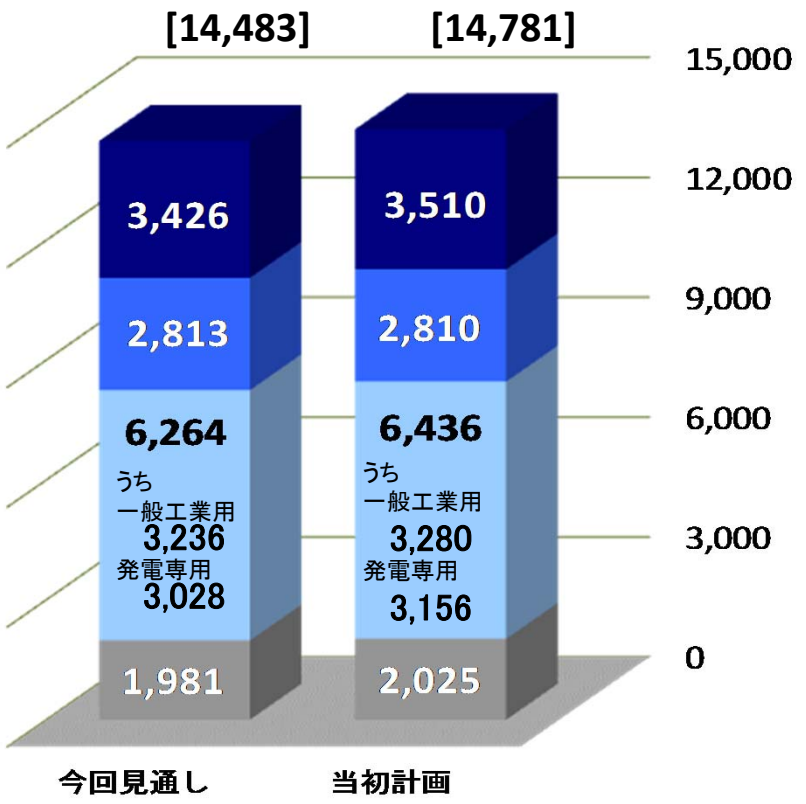
当初計画→今回見通し

▲298百万㎥ (▲2.0%)の減少
[うち気温影響▲79百万㎥▲0.5%の減少]

■ 家庭用	▲84百万㎥ (▲2.4%)
・気温要因	▲86百万㎥
・日数影響	▲2百万㎥
・お客さま件数	+1百万㎥
・その他	+2百万㎥
■ 業務用	+3百万㎥ (+0.1%)
・気温要因	+12百万㎥
・日数影響	+1百万㎥
・お客さま件数	▲8百万㎥
・その他	▲2百万㎥
■ 工業用	▲172百万㎥ (▲2.7%)
・一般工業用: 既存設備稼働減等	▲44百万㎥
・発電専用: 既存設備稼働減等	▲128百万㎥
■ 卸	▲44百万㎥ (▲2.2%)
・気温要因	▲5百万㎥
・その他	▲39百万㎥

百万㎥, 45MJ/㎥
(百万㎥以下四捨五入)

ガス販売量:



	今回見通し	当初計画	増減
LNG液販売量 (千t、ニジオ向け除く)	790	795	▲5
平均気温(℃)	17.0	16.6	+0.4

お客さま件数(万件)

今回見通し	当初計画	増減
1,110.5	1,110.2	+0.3(+0.0%)

トーリング移行によるガス販売量変化

2013年度見通し

百万㎥, 45MJ/㎥

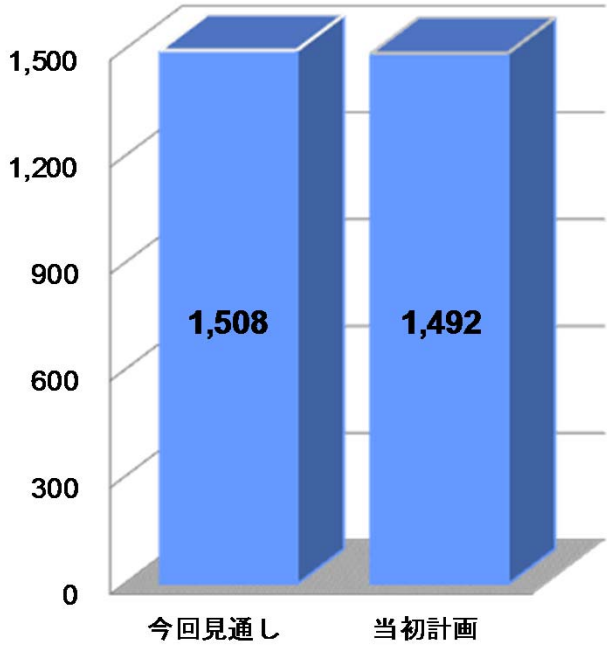
●トーリングによるガス使用量込（単位：百万m3）

	今回 見通し	当初計画	増減
ガス販売量 （財務会計数値）	14,483	14,781	▲298
			▲2.0%
トーリングによる ガス使用量	1,508	1,492	+16
			+1.0%
合計	15,991	16,273	▲282
			▲1.7%

●工業用ガス販売量内訳（単位：百万m3、（）内は当初計画増減）

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	487	2,541	3,028
	▲69(▲12.5%)	▲58(▲2.2%)	▲128(▲4.0%)
一般工業用	167	3,068	3,236
	+11(+7.2%)	▲55(▲1.8%)	▲44(▲1.3%)
合計	655	5,609	6,264
	▲58(▲8.2%)	▲113(▲2.0%)	▲172(▲2.7%)

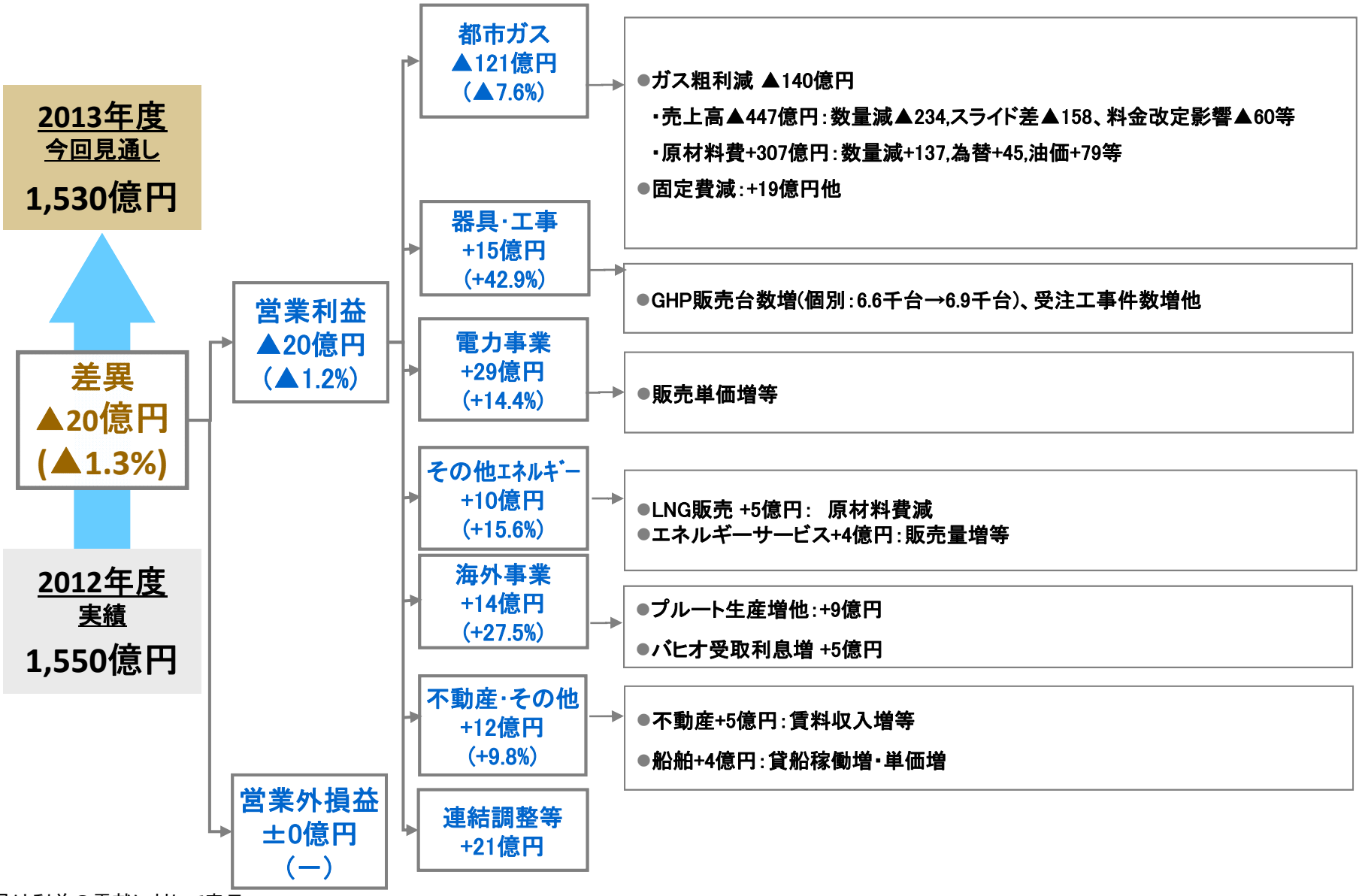
トーリングによるガス使用量



※トーリング：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

2013年度見通し 経常利益分析 ＜対当初計画＞

（単位：億円）



※符号は利益の貢献に対して表示

TOKYO GAS

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531